

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# リツキシマブ療法

## 【難治性ネフローゼ症候群】

1 週毎 4 コース予定  
疾患名 難治性ネフローゼ症候群

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )  
スケジュール

リツキサン(リツキシマブ) 375 mg/m <sup>2</sup> (最大 500mg)	day 1 ↓
--	------------

- 【注意】 \* 初回投与は必ず入院で実施すること。  
\* 体温・脈拍・血圧測定・SpO<sub>2</sub> 測定は up 直前におこなうこと  
\* 小児は投与速度が異なるため、小児リツキシマブ療法【難治性ネフローゼ症候群】のレジメンを使用すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

【初回】 \* 初回投与は必ず入院で実施

① カロナール(200 mg) \_\_\_\_\_ 錠 内服

ポララミン(2 mg) \_\_\_\_\_ 錠 内服

☆30 分後より

② 生食 500mL にて血管確保 \_\_\_\_\_ 維持 (20 mL/時間)

③ リツキサン \_\_\_\_\_ + 生食 適量 (10 倍希釈)

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注

④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注

⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

**【2回目以降】** 1コースにおいて発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

- ① カロナール(200 mg) \_\_\_\_\_錠  
 ポラミン(2 mg) \_\_\_\_\_錠 内服  
 ☆30分後より
- ② 生食 500mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ③ リツキサン + 生食 適量 (10倍希釈)
  - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ④ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
  - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
リツキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				